

鈴鹿医療科学大学同窓会会報

SUMS ALUMNI

vol. **22**
2021.10.01



開催報告

「Zoomを使いこなしてみよう！」 同窓会Zoomオンラインセミナー

新型コロナウイルス感染症の予防対策を巡って、在宅勤務などのテレワークが注目されています。そこで昨年、同窓会では、卒業生皆様に向けた「Zoomを使いこなしてみよう！同窓会Zoomオンラインセミナー」を開催いたしました。

第一回（10月23日・19時）、第二回（10月30日・19時）と平日夜の開催でしたが、延べ二十名の卒業生にご参加いただき、「Zoomへの参加方法、会議の準備の仕方、バーチャル背景の設定方法、画面共有、レコーディング、Zoomでの盛り方（Webカメラと外部カメラ、映像と音声を良くする方法）等をご案内し、仲間とオンラインミーティングする一連の工程を体験していただきました。

現在では、学会や研究会もオンライン形式で実施される機会が増えました。今後も同窓会では各職種の専門技術とは異なり、幅広いスキルを学べるオンラインセミナーを開催してまいります。ぜひご活用ください。

音声を良くする方法（音量調整・雑音抑制）



画面の共有方法

⇒ 自分が共有したい画像を選択する。



同窓会事務局
からの
お知らせ

令和三年度 同窓会Zoomオンラインセミナー

このたび同窓会では、オンラインセミナー（ワークショップ）の開催を企画いたしました。昨年度に引き続き、Zoomの使い方セミナーの他、より幅広い学びとして、ノンテクニカルスキル向上を目的としたストレスマネジメント基礎セミナーを企画いたしました。対象は鈴鹿医療科学大学同窓会員ならどなたでもOKです。

【セミナー詳細】

会場

Zoom（オンライン）。カメラON・マイクは一時ONにしていただく必要があります。

参加費

無料。ただし鈴鹿医療科学大学卒業生の方に限り参加できます。

申し込み方法

登録フォーム（QRコード）より申込ください。

締め切り

各回開催日の一週間前

受講に際してのご注意

①一講座あたり四名様に満たな

登録フォーム

● Zoom 使い方研修

10月30日（土） 15時～16時

<https://forms.gle/wTEthDfdLRsKxBWu6>



● ストレスマネジメント（基礎）研修

11月5日（金） 19時～20時半

<https://forms.gle/jMQhoBPibMKrNdHc9>

②実施確定後、開催数日前までに当日アクセスいただくZoomアドレスを連絡します。

い場合、実施しない場合がございます。実施可否については「実施の一週間前」に確定の上、ご連絡となります。

卒業生紹介

今年四月に鈴鹿医療科学大学の附属病院である桜の森病院が開院しました。
今回は鈴鹿医療科学大学附属桜の森病院に着任された同窓生の上村麻衣子さんをご紹介します！



上村 麻衣子さん

医事情報工学科卒業生

二〇二一年四月に鈴鹿医療科学大学附属桜の森病院が開院しました。ご縁あって事務職員として採用になりました、医工工学部 医事情報工学科（現・医療健康データサイエンス学科）卒業生の上村麻衣子と申します。

私は在学中に診療情報管理士を取得しました。十四年間、勤務してまいりましたが、今年の二月に転職して現在、桜の森病院の医事課職員として働いています。

はじめに、当院について簡単に説明いたします。

当院は、全国初となる大学附属の完全独立型緩和ケア病院で、大学の白子キャンパスの一角に開設されました。末期がんの患者さんの緩和ケアに特化し、地域の医師会や他の医療機関と連携して緩和ケアを提供しております。

建物は、平屋で病床二十五床はすべて個室で南向きに作られており、庭園も広く、患者さんがゆったりとしたくつろぎの空間で心穏やかな日々を過ごせられるよう、整備されています。

職員は少人数ではありますが、医師、看護師、薬剤師、事務員など、多職種がチームとなり、患者さん一人一人に寄り添い、アットホームで温かみのある緩和ケアを提供したいと思っています。

母校の大学病院開設に携わることができ、大変誇りに思います。一からみんなで作上げていく大変さはありませんが、大学で学んだ知識を生かし、桜の森病院の力になれるよう、今後も努力してまいります。



桜の森病院が 第40回三重県建築賞 一般部門で入選を受賞



令和3年4月1日に開院した「桜の森病院」の建物が、第40回三重県建築賞一般部門での審査の結果、「入選」を受賞しました。

全国初となる大学附属の完全独立型緩和ケア病院として、安らぎのある「住まい」を感じられる緩和ケア病院の実現をめざし、患者様が安心して過ごせる良質な環境づくりをコンセプトに計画、建設を実施しました。

開院後においては、入院患者様のご家族からも施設環境並びにスタッフの対応等で高い評価をいただいています。

※三重県建築賞とは「三重県内の地域社会の発展に寄与した優秀な建築作品に対して表彰する」もので、受賞作品の内容については一般社団法人三重県建設業協会のホームページに掲載されています。

https://www.miekenkyo.or.jp/award_detail_no40.php

支部報告

医療福祉学科 医療福祉学専攻同窓会から のお知らせ

西川潤子教授からのメッセージ

新緑の候、皆様お変わりなくお過ごしですか。

鈴鹿医療科学大学医療福祉学科で教員をしていました西川潤子です。

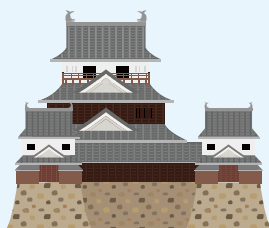
私は、この三月三十一日で鈴鹿医療科学大学医療福祉学科を退職いたしました。1期生が三年生のときに北海道から鈴鹿に赴任して来て十五年間お世話になりました。

授業では、介護概論や介護技術論、相談援助実習指導、精神保健福祉援助実習等を担当していましたが、国家試験に向けて皆さんがコツコツと努力している姿には頭が下がりました。その結果、本学は合格率が東海地区でトップになり、努力は裏切らないと実感したことでした。今でも、私の大切な言葉の一つに「努力は裏切らない」があります。

また、特に印象に残っていることは、平成二十年五月から二十三年四月まで、放課後に若年性認知症患者A

さん（監督）と体育館でフットサルを通して交流活動を続けたことです。この活動から、地域の若年認知症者とその家族のための居場所を提供するという目的で、若年性認知症サロン「家族みまん。」を立ち上げました。どの活動も、皆さんが積極的に関わり、先輩から後輩に受け継いでくれたお陰で、「家族みまん。」は三月で満一〇年になりました。ありがとうございました。私がとうございました。私は代表から退きました。新しい形で継続していきますので、社会人になった皆さんもお顔を見せてください。

実は、四月からは初代医療福祉学科長の佐々木信也先生が、理事長をなさっている介護老人福祉施設（松



山市と東温市）で地域福祉に携わる仕事をするために、鈴鹿を離れて愛媛県松山市に引っ越してきました。松山市は、温泉が有名で石を投げれば温泉に当たるぐらい温泉だらけです。朝風呂が五時からオープンしており、愛媛県人は温泉大好き人間みたいです。しかし、新型コロナウイルス

ルスが全国的に猛威をふるい、残念なことに松山市は、まん延防止等重点措置が適用されました。どうか、皆様もコロナに負けずにお体ご自愛ください。そしてコロナが収束しましたら温泉に入り、松山にお越しください。

令和三年五月

オンラインで理事会を開催しました

令和三年二月二十日（土）、オンライン（Zoom）にて理事会を開催し、役員八名が出席しました。令和

二年度の活動の振り返りや会計報告を行うとともに、今後の活動内容について話し合いを行いました。

オンラインでの理事会は初めての試みでしたが、画面を通して役員それぞれの思いや提案が多く出され、新鮮味のある会となりました。

令和二年度役員紹介

（※数字：卒業期1～14期生）

会長…縣希輔① 副会長…兵倉香織（旧姓…丹羽）② 事務局長…山下千晶（旧姓…富田）① 会計…福田佳奈③ 役員…伊藤達也①、市川真也②、澤孝行④、勝田貴之⑤、森本早起⑤、市川真希（旧姓…福吉）⑥、山際千晴⑦、米本麻由佳⑦、伊藤有希⑧、前納一輝⑧、沖本成未⑨、戸坂勇希⑪、松山祐奈⑫、熊谷美紀⑬、米本安那⑭

支部報告

医療栄養学科 同窓会からの お知らせ

■秋永 桃直 (23期生)

私は大学卒業後、特別養護老人ホームに一年半、一般企業に二年半勤めて、現在は母校である鈴鹿医療科学大学の助手として働いております。

転職をして職場は三か所目になります。一度管理栄養士としての仕事を諦めましたが、現在母校で働かせて頂き、学生の時とは違うのとても不思議な感覚です。

前職では、事務として営業のサポートをしておりました。

事務の経験を活かしてサポートをしたいと考えております。まだ勤め始めたばかりですが、学生に寄り添っていきけるようにこれからも精進していきます。

医療栄養学科管理栄養学専攻を卒業した OGの活躍をお知らせします!!

■野々田 千紘 (23期生)

私は大学を卒業後調剤薬局に就職し、現在は母校である鈴鹿医療科学大学で助手として働いております。調剤薬局では、健康イベントを開催、公民会での講演や近所のクリニックでの外来栄養指導など、地域の方に薬局の管理栄養士を身近に感じていただくように取り組んでいました。

「どのようにしたら管理栄養士を身近に感じてもらえるか」どうすれば他職種から求められる管理栄養士になれるか」を模索する日々でしたが、取り組みを続けることによって、薬局へ食事のことを相談しに来てくださる方が増え、他職種の方から栄養について意見を求められるようになりやりがいにつながりました。薬局やクリニックでの栄養指導を経

支部報告

鍼灸サイエンス学科 同窓会からの お知らせ

令和二年度 卒業生キャリア講演

令和二年十二月二十一日(月)に鍼灸サイエンス学科一・四年生の在校生を対象とし、卒業生キャリア講演を開催致しました。今回は本学科七期生で本学鍼灸治療センター非常勤講師の森田麻紀さんにご講演頂きました。

森田さんは、訪問鍼灸院や鍼灸接骨院、本学鍼灸治療センターで勤務



した経験から、それら治療院の特徴や業務内容をはじめ、職場で求められる要素についてお話し頂きました。また、治療院での院長経験もあり、鍼灸師としてキャリアアップし

ていくためにはどのように取り組んでいけば良いのかなどについても、森田さんの考えを踏まえてお話し頂くことができました。

今回の講演は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、初めてZoom(遠隔)での開催となり、インターネットトラブルなどが生じる心配などもありましたが、特に大きな問題も生じず無事に講演を終了することができました。また、学生から「現場で活かせる資格」や「各現場での業務の詳細」などについて質問があり、Zoomでの講演にも関わらず積極的に質問する様子が見られ学生にとって有意義な時間となったようです。これまで年間一回程度の講演実施としていましたが、気軽に簡単に実施できるZoom等を利用することで開催回数を増やすなど検討していきたいと考えております。



写真左より野々田さん、秋永さん

薬学部同窓会

からのお知らせ

令和二年度活動報告

令和二年十一月八日（日）、第七回薬学部同窓会をZoomを用いてオンラインにて開催しました。第一部の総会では、令和元年度の事業報告や会計報告に加え、副会長として新たに五藤健児（3期生）が選任され、7期生幹事として田畑実来、中川有惟、中川直也、伴勇介、前川幸恵が選任されました。第二部の第十二回生涯研修セミナーでは、森智規先生（1期生）より、得られた臨床デー

第七回薬学部同窓会
参加者の声

夕をに疑問を持つことの大切さや不要な抗菌薬処方方を減らすことの重要性について実体験を交えてご講演頂きました。また、鍋谷和先生（1期生）より新薬開発に寄与するCRO、SMOの役割および業務内容をご自身の携わった業務を踏まえて詳細にご講演いただきました。第3部の交流会では、各学年の代表者から近況報告や小グループでの意見交換を行いました。コロナ禍で模索しながらのオンライン開催とはなりましたが、大変有意義なひと時となりました。

令和二年十一月八日（日）オンラインにて、第七回薬学部同窓会が開催されました。卒後研修セミナーでは、実際に臨床現場や企業で働いている先輩方のお話を拝聴し、大変勉強になりました。その後の交流会では、オンラインでしたが、同期生との久しぶりの再会を喜び、和やかに楽しい懇親会となりました。私は現在、鈴鹿回生病院で勤務しています。院内の感染対策チームに

第8回薬学部同窓会開催のお知らせ

日 時	令和3年11月14日(日) 13時30分～17時00分(13時より入室可能)
内 容	総会、生涯研修セミナー、交流会
会 場	Zoom (オンライン開催)
参 加 費	無料
申込方法	登録フォーム(QRコード)より申込。 もしくは、各学年幹事へ申込連絡して下さい。 https://forms.gle/6quTU4KFCAtaZcRq5 参加登録を頂いた方へ【Zoom URL】を開催までにメールでお送りします。



第8回薬学部同窓会登録フォーム▶

問い合わせ先

鈴鹿医療科学大学薬学部同窓会運営委員会
Email: sums.pharmacy.obog@gmail.com

- 1期生幹事…雨血千鶴代、河井亜希、鍋谷和
2期生幹事…浮氣 良太、内田 亮太、星野 美帆(旧姓:近藤)、堀内 成未(旧姓:島)、土方 峻
3期生幹事…伊藤 朱里、近藤 健太、瀧下 裕、河井 栄作(旧姓:赤塚)
4期生幹事…各務 有里、白上 茜、鈴木啓太、沖 活也、宮崎 翔平
5期生幹事…太田 有亮、櫻谷 実里 6期生幹事…那須 隆斗
7期生幹事…田畑 実来、中川 有惟、中川直也、伴 勇介、前川 幸恵
理 事…雨血千鶴代、鍋谷 和、土方 峻、櫻谷 実里
会 計…宮崎 翔平、那須 隆斗
副会長…大出 真衣(旧姓:竜瀬)、五藤 健児 会 長…藤戸 淳夫

所属しており、今後は感染制御認定薬剤師の資格を取得し、院内の感染制御や抗菌薬の適正使用に貢献したいと思っています。
最後に、今回の同窓会の企画・準備をして頂いた幹事の皆様に心よりお礼申し上げます。
(3期生 近藤 健太)

面越しではありましたが、同じ大学を卒業した方々と交流を深められた時間は、久々に母校に戻った気持ちを感じさせてくれました。
現在私は、静岡県立総合病院で救急病棟(HCU)の担当薬剤師として病棟業務に励んでおります。薬剤師として医師や看護師と協力し治療方針の舵を握る一員であることに誇りを感じております。多忙な日々ではありますが、今後も気合いを入れたいと思う良い機会となりました。
(7期生 伴 勇介)

放射線技術科学科同窓会 からのお知らせ

卒業生によるキャリア支援

医療人底力実践Ⅰ(学科プログラム)授業紹介

放射線技術科学科 武藤 裕衣

本学科では平成七年ごろより Early Exposure との科目名称で新入生向けにキャリア支援を目的とした授業を開講してまいりました。現在は、「医療人底力実践Ⅰ(学科プログラム)」と名称が変更され、内容を充実し新入生向けのキャリア支援授業を実施しています。この科目の中では、卒業生による講演授業を実施しています。今年は Zoom による遠隔授業方式で実施され、六名の卒業生(山田剛さん、鈴木恵子さん、寶谷俊洋さん、北中康友さん、林藍花さん、前田啓行さん)に講演いただきました。チャット機能を使うことで、講師・教員が学生さんからのコメントにリアルタイムで反応し、講師からのコメントを聞いて学生さんがまた質問・感想を伝えるなど、対面授業以上に活発な交流の場となりました。授業後には、毎回作文を提出していただきました。以下、一部をご紹介します。

★ 卒業生の方の講義は、今から学ぶことが将来医療現場で働く際にどのような所で繋がっていくのかとても具体的で、これからの学習への意欲が向上した。中でも日々の授業が大事であることを身にしみて感じた。基礎がなっていないと正しい知識を身につけることは困難だと考える。現在は在宅学習で不安や戸惑いもあるが、一番重要

★ 私が行った今回の講義で最も印象に残った内容は、情報収集の大切さについてだ。大学生活においても卒業してからの医療現場やその他の社会全般においても情報収集によって自らの生活に役立つことは多いと思う。(中略) そこで私は、これからの大学生活でまず専門知識を学ぶ上で先生方に質問することを大切にしようと思う。(後略)

尾本 拓海さん

★ 卒業生の方の講義は、今から学ぶことが将来医療現場で働く際にどのような所で繋がっていくのかとても具体的で、これからの学習への意欲が向上した。中でも日々の授業が大事であることを身にしみて感じた。基礎がなっていないと正しい知識を身につけることは困難だと考える。現在は在宅学習で不安や戸惑いもあるが、一番重要

令和3年度 放射線技術科学科同窓会開催のお知らせ

日時：令和4年2月19日(土)

13:30~16:30 (13:10より入室可能)

内容：総会、生涯研修セミナー(大学院へ行こう!他)、交流会

会場：Zoom(オンライン開催。カメラはON・マイクは一時ONにさせていただく必要があります)

参加費：無料

申込方法：登録フォーム(QRコード)より申込。

<https://forms.gle/A5tb2gqpvBa4kEZV6>



な基礎を学んでいるという自覚をしつかり持ち更に勉学に励んでいきたいと思う。挨拶や礼儀についても日々の生活習慣・態度がそのまま現れると思うので、医療従事者になることを念頭に置き生活したい。また、施設についてもそれぞれの特色などを詳しく説明していただき非常に参考になった。(後略)

利光 美咲さん

放射線技術科学科 Facebook ページを開設しました!

放射線技術科学科では、2021年2月下旬に Facebook ページを開設しました。現在、コロナ禍のため学校行事なども制限されていますが、この Facebook を通じて学科の特色や学生の活動状況など、放射線技術科学科の魅力を紹介していきたいと思ひます。

本学科の実習室には臨床現場で使用する大型医療機器が数多く設置されています。Facebook ではその医療機器の一つ一つの紹介や、学内実習で機器を使用して学生がどのように学んでいるかなどの様子、さらに診療放射線技師の業務についてなど、皆様に学科や診療放射線技師の魅力についてお伝えしていきたいと考えております。また、コロナ禍でも

ありオープンキャンパスに足を運べない方々もおられると思いますのでオープンキャンパスの情報なども紹介いたします。

Facebook ページは大学のホームページ内にリンクもございますので気軽にご覧いただけたらと思ひます。良い情報を提供できるよう本学科教員一同で Facebook ページを盛り上げていきたいと思ひます。定期的に更新してまいりますので、皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

保健衛生学部 放射線技術科学科
准教授 中舎 幸司



医療人底力実践Ⅰ（学科プログラム）の取り組み

先輩や看護職との 対話を通して

看護学部 看護学科

教授 江口 秀子

医療人底力実践Ⅰ（学科プログラム）は、医療・福祉のスペシャリストを育てるといふ本学の教育理念に基づき、「自職種理解」「キャリア形成・人生設計」「職業意識」「モチベーションの習得」「学びや体験の記述発表」という共通目標のもと、それぞれの学科の特色を踏まえながら取り組んでいます。

看護学科では看護の歴史や役割、本学で看護を学ぶことの意義についての説明後に、本学科四年生から大学での過ごし方や修習や実習、キャンパスライフ等）についてプレゼンテーションを受け、直接先輩と交流する場を設けています。また、本学の卒業生をはじめ、保健師や助産師、訪問看護師など実習施設から多くの看護職の方に来ていただき、看護職の活躍の場の広さについて最初に知ってもらいます。さらに認定看護師・専門看護師・看護管理者からのプレゼンテーションによって看護職としてのキャリア形成をイメージする機会としています。このように先輩や看護職の方々との交流の機会を設けることによって学生からは「先輩たちの話を聞いて〇〇という目標を立てた」「看護師として患者さんに寄り添うことの重要性を学んだ」という声が聞か

れました。

看護学科では共通目標五項目に加え「コミュニケーション能力」「ストレス対処能力」という目標を追加しています。毎回授業の中にグループワークを取り入れて発表の機会を設けることによって、他者に伝えることの難しさやいろいろなものの見方・考え方があることを体験しています。またストレスとその対処法を知ることによって自身のストレス対処能力を高め、新しい環境に適応していくことを支援しています。「自分なりのストレス解消法を書き出して部屋に張り出した」など具体的な行動がレポートの中にみられました。

臨床検査学専攻卒業生の 講義を聴講して

保健衛生学部 医療栄養学科

准教授 金山 和樹

五月二十日（木）の医療人底力実践Ⅰ学科プログラムで外部講師として二名の臨床検査学専攻卒業生に來校していただき、新一年生に講義を行っていただきました。この講義は、新一年生が卒業生との交流を深める目的とともに、臨床検査技師として活躍する先輩たちの姿を見て資格取得へのモチベーションがさらに高まることを期待し実施しています。今年で四回目となりますが、本年度は1期生の平尾早希先生（鈴鹿

回生病院）と澤弘視先生（近畿健康管理センター）に現在行っている業務内容について詳細にお話をいただきました。特に澤先生はセンターで予防医学に携わっているため、病院以外での臨床検査技師の役割についてお話が聞けたのは学生にとって大きな収穫であったことと思います。また、

三六〇度画像（バーチャリアリティ）による実習室紹介

保健衛生学部

リハビリテーション学科

助教 野口 佑太

作業療法学専攻では、主に基礎作業学実習室、小児リハビリテーション室、生理解習室、検査測定実習室を使用して学内実習を行っています。各部屋には最新の機器を設置し、充実した環境で実習を行うことができます。この実習室を学外の方に広く知ってもらうことを目的に三六〇度画像（バーチャリアリティ）による実習室紹介をホームページ上に公開しました。

バーチャリアリティとは、日本語で仮想現実と訳されており、ゲームやマーケティング、教育研修場面など様々な領域で活用されています。バーチャリアリティの利点は、その場に行かなくても擬似的に体験することができるところです。このたび公開したバーチャリアリティによる実習室紹介では、千代崎キャンパスの作業療法学専攻の実習室へと足を運ぶことなく、自宅のパソコンまたはスマートフォンを操作することによって各実習室を三六〇度見渡すことができ、機器の配置や部屋の雰囲気を感じてもらうことができます。

実際、どのくらいの方に視聴いただいているかについて、Googleアナリ

講義をしている卒業生を見て立派に成長されたことを強く感じました。卒業生が母校で学生を指導し、指導された学生が卒業後、また母校で指導する、このサイクルをこれからもずっと継続し臨床検査業界の中で鈴鹿医療科学大学の太いネットワークを築き上げていってほしいと思います。

ティクスを用いて確認したところ、作業療法学専攻のページに初めて訪問した方の1/3の割合でバーチャリアリティによる実習室紹介をご視聴いただいていることがわかりました。この結果から、バーチャリアリティによる実習室紹介が作業療法学専攻のホームページに訪れる方にとって、魅力的なコンテンツであると考えられます。今後も様々な取り組みを通じて、作業療法学専攻の魅力を発信していきたいと思



小児リハビリテーション室の様子

本学ホームページより>学部・大学院>保健衛生学部>リハビリテーション学科 作業療法学専攻>施設紹介からご覧ください

心理系資格取得と サポートについて

保健衛生学部 医療福祉学科

助教 上條 史絵

二〇二〇年三月に大学院医療科学研究科臨床心理学分野の第1期生十一名が修了しました。彼らは、二〇一八年に第一回の試験が行われた国家資格公認心理師制度が三年目を迎えた今年度、本学からの受験資格者1期生でもあり、初めての国家試験受験となりました。四月以降の試験となるので、就職一年目と試験勉強が重なる多忙とプレッシャーは相当だと想像します。そこに新型コロナウイルス感染拡大が重なり、当初六月予定だった試験は十二月に延期となりました。このような状況下で、修了生から六名が受験しました。二月の合格発表では、本学で学んだ成果を体現してくれるものと期待しています。また、従前からの心理援助資格である臨床心理士試験は、十月に筆記試験の一次、十二月に面接試験の二次が行われ、こちらは見事、中村仁美さんが合格しました。会場が東京だったこともあり、コロナ禍で今年度は多くの人が受験を見送りました。来年度以降は二つの資格の合格者はさらに増えていくと期待し



ます。

医療福祉学科臨床心理学専攻では資格取得のサポートとして七月に勉強会を開催し、二〇一九年度に合格した修了生平井智子さん（現任者資格による受験）の講演と「効果的な勉強法」についてのレクチャーを、助教の上條が行いました。大学院生を

薬学研究科 第六回課題研究中間成果報告会および 第四回学位論文発表会を開催

医療科学研究科 薬学研究科長

飯田 靖彦

一月二十一日（木）白子キャンパスにて、薬学研究科の第六回課題研究中間成果報告会および第四回学位論文発表会を行いました。

まず午前中に大学院二年生的那須隆斗さん、佐藤雅也さんの二名が課題研究の中間報告を行い、次いで午後には大学院四年生の宮崎翔平さんが博士論文研究を発表しました。

本年度は新型コロナウイルス感染症の影響で研究の遂行に苦慮する中、限られた時間内に研究をまとめ、各々非常に興味深い研究成果を発表しました。特に四年生の宮崎さんは、大学全体が自粛となる中でただでさえ困難なまとめの作業を計画的に進め、発表会当日までに学位論文をしっかりと仕上げ堂々たる発表でした。

午前中の中間成果報告会では、那須さんが「中枢神経変性におけるTAGET化タン

中心に計二十一名（オンライン九名）が参加し、この様子を修了生・大学院生へオンライン配信もしました。また、八月に臨床心理士の、十一月・十二月に公認心理師の模擬試験を実施し、現役の大学院生を含めたそれぞれ二十四名、二名、十二名が受験して、本番への備えや実力チェックを行い

ました。

二〇二二年春には、学部一年次から公認心理師資格取得カリキュラムで学んだ学生が卒業します。今後は地域への心理援助専門職の輩出を視野に、修了生、在院生に学部生を加えたサポートを行っていく所存です。

薬学研究科 第六回課題研究中間成果報告会および 第四回学位論文発表会を開催

パク質の探索とその機能解明に関する研究」について、佐藤さんが「高血糖の認知機能への影響に関するトランスレーショナルリサーチ」について報告しました。両者はいずれも「糖尿病と認知症」をテーマとしており、前者は糖尿病における認知症の発症過程を調べる基礎研究、後者は高血糖と



認知機能障害の関連を調べる臨床研究と、互いの研究が一つに繋がる興味深い内容でした。午後の学位論文発表会では、宮崎さんが「不安高感受性ラットにおけるエゾウコギエキス及びその含有成分の抗不安作用に関する研究―行動及び自律神経活動に基づく薬理的検討―」の論文題目で発表を行いました。よく計画された実験から、得られた成果を短い時間の中でわかりやすく発表しており、二年前の課題研究中間成果報告会で明らかとなった問題が適切に改善された内容でした。本年度の二年生も、二年後には今回指摘された課題を見事にクリアして報告するものと期待しています。全ての参加者が時間を超えて討論する本学の学位に相応しい発表会となりました。

本研究科では「高度な薬学領域での専門能力を発揮して医療に貢献するとともに、自立して研究する能力を備えた臨床薬剤師及び臨床における創薬・育薬を担う人材としての研究者及び教育者の要請を目的とする」を理念に大学院生の教育を行なっています。本年度の課題研究中間成果報告会及び学位論文発表会は、いずれも社会に貢献する研究内容であり、今後もこのような質の高い基礎、臨床研究を発信するとともに有能な人事の育成に努めていきます。

表彰制度のご紹介

同窓会では、平成三十年度より本学の発展充実に寄与するため、卒業生涯教育事業の一環として本学卒業生の皆様の各種活動や業績に対し表彰する制度を設けています。

一つは、「親子二代にわたる入学者に対して感謝状を贈呈する制度」です。この制度は、同窓会が親子二代（直系の親・子の2世代）にわたる入学者に対して感謝状を贈り、感謝の意を表するものです。

そしてもう一つは、「功労表彰制度」です。これは卒業生が大学の一員である意識と一体感を醸成し、卒業生一人ひとりの励みとなるよう、社会に貢献し、顕著な業績をあげ、大学の発展に寄与された方を表彰するものです。

このような制度を通して、同窓会からの情報発信を積極的にこなすとともに、同窓生や在学生との連携を強化しながら、大学の発展や卒業生同士のネットワークづくりに努めて参ります。

ぜひお知り合いに該当する方がおられましたら、自薦他薦いずれもかまいませんので、お申し込みください。

表彰1 親子二代にわたる入学者に対する

感謝状贈呈

対象

親子二代（直系の親・子）が、現在の学校法人鈴鹿医療科学大学又はその前身である学校法人鈴鹿医療科学技術大学に入学された方

ただし、申請時において子が本学の在籍者であること

申請方法

申請には以下の事項を同窓会事務局まで、メールまたは郵送にてご連絡ください。

- ① 親（卒業生）の学生番号（または学科と入学年度）と氏名
- ② 子（在学生）の学生番号と氏名
- ③ 親の連絡先である住所、電話番号、メールアドレス

郵送の場合：

〒五一〇〇二九三

鈴鹿市岸岡町一〇〇一一

鈴鹿医療科学大学内

鈴鹿医療科学大学

同窓会事務局 武藤

メールの場合：mail@sums-a.com

表彰

表彰状の授与および記念品贈呈

付記

- ① 申請は随時受け付けておりますが、毎年十月末日で区切りますので、十一月以降にご提出いただいた方は翌年の十一月に贈呈式を行います。
- ② 贈呈式には、原則二代揃ってご出席いただき、その場で贈呈させていただきます。贈呈式参加にかかる交通費は、親一名分を原則支給致します（ただし上限十万円まで）。

- ③ 申請時において親・子 共にご健在である方を対象とさせていただきます。ただし、同一申請人による申請は一回限りとします。
- ④ 被贈呈者の決定は、申請に基づき常任理事会が行います。

表彰2 鈴鹿医療科学大学同窓会功労賞

（毎年若干名以内）

対象

- ① 現在の学校法人鈴鹿医療科学大学又はその前身である学校法人鈴鹿医療科学技術大学のいずれかを卒業された方
- ② 社会に貢献し、又は顕著な業績をあげ、大学の発展、名誉及び信用の向上に寄与したと認められる方

【例：企業や病院の部・科長クラス以上、個人経営者、都道府県レベルの学会・職能団体三役以上、または同役員経験十年以上、その他上記に準じる功績があり表彰に値すると認められる卒業生】

- ③ 同窓会正会員会費を納入されている方
- ①、②、③のいずれも満たす方が対象となります。ただし、本学の常勤教職員は除きます。

申請方法

自薦の場合、①履歴書②推薦理由（候補者の功績など表彰対象事項四〇〇字以上）を作成し本学同窓会事務局までメール

会 同 窓 会 同 事 務 局 よ り

一定人数以上の同窓会開催を

同窓会が支援します！

鈴鹿医療科学大学同窓会では、同窓生や学科のつながりを活性化することを目的として平成三十年度より、クラス会やゼミ会、サークルOBOG会など、十人以上集まるクラス会等を開催された場合に対する助成を行っています。

それに加えて、卒業生の研究活動やキャリア支援のため、卒業後七年以内の方の学会発表や大学院進学に対する助成制度が設

けられています。助成を希望される団体は、以下をお読みいただき、お申し込みください。

ルまたは郵送にてご連絡ください。

他薦の場合、本学同窓会会長・同窓会各支部長を推薦者とします。卒業生のうちから本賞を受賞するに相応しいと認めたものを②推薦理由を添付し、八月末日までに同窓会常任理事会に推薦してください。

表彰

表彰状の授与および記念品・賞金

付記

- ① 被贈呈者の決定は、申請に基づき常任理事会が行います。
- ② 表彰式と表彰者による講演会を開催します。表彰式参加にかかる交通費は、原則支給致します（ただし上限十万円まで）。
- ③ 講演時間は、一人二十分～三十分程度を予定し、後輩（在学生）に語りかけるようなエピソードを含めた話をお願いいたします。

- ④ 表彰式と表彰者による講演会は、毎年十一月月上旬および二月下旬に行う予定です。

けられています。

助成を希望される団体は、以下をお読みいただき、お申し込みください。

活動1 クラス会等開催に対する助成 申請条件

次の卒業生の集まり。

- ① 学年、学部、専修・専攻・学科が同じ卒業生の集まり（クラス会など）

- ② 出身地または現住所の地区が同じ卒業生の集まり（地区会など）
- ③ 複数の卒業時期で同じゼミの卒業生の集まり（ゼミ会など）
- ④ 在学時に同じサークル・同好会の卒業生の集まり（サークルOB・OG会）
- ⑤ 現在の業種が同じまたは勤務地が同じ卒業生の集まり
- ・ 一団体につき年一回
- ・ 十名以上の参加があること
- （ただし、同窓会支部活動補助との重複申請はできません）

申請者

本会正会員（会費が完納されていること）

申請方法

申請には代表者が以下のものを揃えて同窓会事務局に提出してください。

送付先 e-mail: mai@sums-aac.com

① 助成金申請用紙（別紙1 同窓会HPからダウンロードできます。）

② 同窓会の案内状（メール画面、ハガキのコピーなど）

③ 同窓会報告用紙（別紙2 同窓会HPからダウンロードできます。）

④ 同窓会の出席者名簿（学生番号・氏名・住所*1）

⑤ 出席者の集合写真（人数が確認できるもの）

*1 会報郵送用連絡先として登録されます。

助成額

出席者一名につき一、〇〇〇円。上限は二万円。人数は報告書に添付していただく集合写真で確認するため、必ず出席者全員がそろっている写真を提出してください（写真は会報に掲載されます。なお

写真は返却できません）。

付記

助成金の申請限度は一年度内に一回とします。

申請は同窓会が行われてから六ヶ月以内に申請してください。期限を過ぎた場合、申請しても受付できません。

同窓会助成は先着順とし、年額予算内

同窓会事務局より

卒業生のキャリア支援を、同窓会が支援します！

鈴鹿医療科学大学同窓会では、卒業生の研究活動やキャリア支援のため、卒業後七年以内の方の学会発表や大学院進学に対する助成制度が設けられています。助成を希望される方は、以下をお読みいただき、お申し込みください。

活動1 卒業生の学会参加への助成申請条件

鈴鹿医療科学大学卒業生のうち卒業後七年以内で、全国学会もしくは国際学会レベルでの学会発表を行った場合

（ただし、過去に本助成を受けたり、卒業生の大学院進学への助成を受けた方は申請できません）

申請者

本会正会員（会費が完納されていること）

申請方法

申請には代表者が以下のものを揃えて同窓会事務局に提出してください。

送付先 e-mail: mai@sums-aac.com

① 助成金申請用紙（別紙3 同窓会HPからダウンロードできます。）

で助成を行うため、申請合計金額が年額予算の上限に達した場合、当該年度の助成を打ち切ります。

次の場合、申請があっても助成を取り消す場合があります。

- ① 申請書類に不備がある場合
- ② 不正な申請があった場合

助成額

国内全国学会・国際学会発表の場合 一万円/件

付記

申請受付は随時行いますが、年二回（七月末、三月末）締め切ります。

被助成者の決定は、申請に基づき常任理事会が行います。

年額予算内で助成を行うため、申請合計金額が年額予算の上限に達した場合、当該年度の助成を打ち切ります。

助成金は、毎年十一月上旬に開催されるホームカミングパーティー内で開催される授与式において、鈴鹿医療科学大学千代崎キャンパスにてお渡しします。

次の場合、申請があっても助成を取り消す場合があります。

- ① 申請書類に不備がある場合
- ② 不正な申請があった場合

活動2 卒業生の大学院進学への助成申請条件

鈴鹿医療科学大学卒業生のうち卒業後七年以内で大学院に進学し、優れた勉学成果を期待できる場合

（ただし、過去に本助成を受けたり、卒業生の学会発表への助成を受けた方は申請できません）

申請者

本会正会員（会費が完納されていること）

二年生以上の大学院生

申請方法

申請には代表者が以下のものを揃えて同窓会事務局に提出してください。

送付先 e-mail: mai@sums-aac.com

① 助成金申請用紙（別紙3 同窓会HPからダウンロードできます。）

② 活動状況がわかる本人が写っている写真一枚

助成額

二万円/件

付記

申請受付は毎年五月一日～五月末日までとします。

被助成者の決定は、申請に基づき常任理事会が行います。

募集人数は原則五名以内とします。

助成金は、毎年十一月上旬に開催されるホームカミングパーティー内で開催される授与式において、鈴鹿医療科学大学千代崎キャンパスにてお渡しします。

次の場合、申請があっても助成を取り消す場合があります。

- ① 申請書類に不備がある場合
- ② 不正な申請があった場合



大学からのお知らせ

▶「証明書コンビニ発行サービス（オンライン証明書発行）を開始しました

卒業生の皆様にご利用いただける証明書発行サービス（オンライン証明書発行）が開始しました。もう大学に来て発行することも郵送等のやり取りを行うことも必要ありません。最寄りのコンビニ（セブンイレブン、ファミリーマート、ローソン）の各店舗に設置されているマルチコピー機を利用して、24時間 365 日各種証明書が発行できます。是非ご利用ください！
〈教務課〉

卒業生用



※証明書の種類によっては、サービスの対象外となる証明書もあります。また、メンテナンス等により、各種サービスを含めたメンテナンス時間や本学の運用において停止する場合があります。詳しくは大学ホームページをご覧ください。

▶令和 3 年 4 月「医療健康データサイエンス学科」を開設しました

令和 3 年に医用情報工学科を改組し、医用工学部に「医療健康データサイエンス学科」が誕生しました。統計学やプログラミングをはじめ、医療健康分野の基礎から実践までを学べるカリキュラムを編成し、先端技術を駆使した課題解決能力を養成します。また「パソコンパーツからの組み立て」「電子カルテ」「超小型コンピュータ」「生体用 IoT」など

を使った実践教育も行います。さらに情報処理系や医療系まで幅広い検定をめざすことも可能です。AI や IoT など最新技術を活用して、医療機関だけではなく IT 企業や医療機器メーカーのシステムエンジニアなど、多彩な分野で活躍できるデータサイエンティストを育成していきます。

〈企画広報課〉

▶令和 4 年 4 月 三重県で初めての「救急救命学科」を開設します

令和 4 年 4 月に、保健衛生学部新たに「救急救命学科」を開設します。救急救命士は平成 3 年に制定された国家資格であり、医師の指示のもと救急車内で医療行為が許されるようになってから日本の救命率が格段に向上しました。また、厚生労働省においては医師の働き方改革の一環として、医療機関での職域拡大が議論され、事故現場や救急車内に限られる救急救命士の活動について病院内でも認める方針が固まりました。

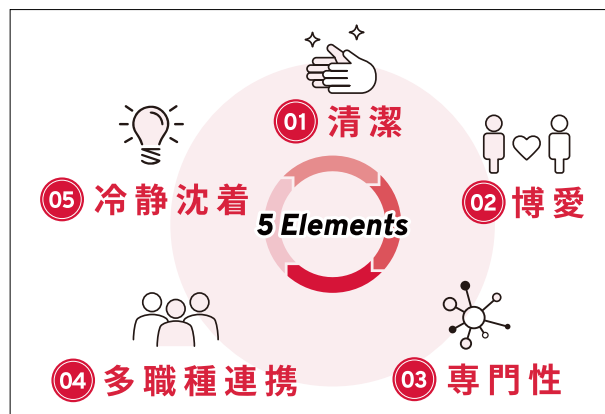
本学科ではこうした背景のもとに、今後医療機関で需要が高まると予想される救急救命士を養成する

ことを目的としています。本学ならではの環境でチーム医療を学修し、また、附属病院で緩和ケアを学び救急救命士に必要とされる死生観も養います。授業では、ご家族も同様に支援できる力を養う「救急救命家族支援論」や、事故や病気に変化する日常を支えるスキルを養う「救急健康生活支援技術論」なども学びます。傷病者とそのご家族に対する思いやりの心、医療専門職としての倫理観、高度な知識と技術を持ち、チーム医療の一員として医療現場はもちろんのこと大規模災害でも活躍できる救急救命士を養成します。

〈企画広報課〉



救急救命学科開設記者発表の様子



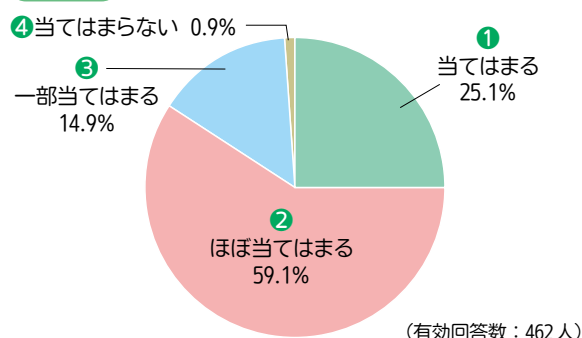
身につけるべき 5 つの要素

2020 年度学修成果に係る自己評価調査の集計結果について

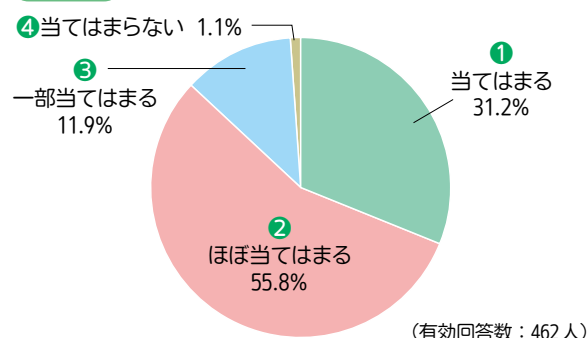
昨年に引き続き、2021 年 3 月の卒業生対象にアンケートを実施し、下記の 5 設問にお答えいただきました。本学での全課程を修了し、本学が掲げる 5 つの教育目標が達成できたかを自己評価していただきました。今回、どの質問においても「当てはまる」と「ほぼ当てはまる」と回答された方が 80% 以上となり、ほとんどの方が教育目標を達成されたことを確認させていただきました。

アンケートに御協力いただきました卒業生の皆様に感謝いたしますとともに、本学ではこの 5 つの教育目標の達成度をさらに高めるために一層の教育改革努力を行ってまいります。

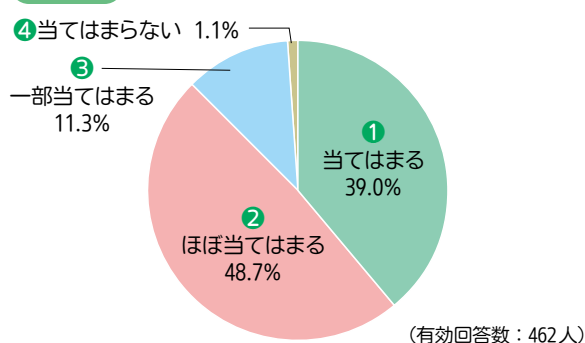
設問 1 高度な知識と技能を身につけることができた



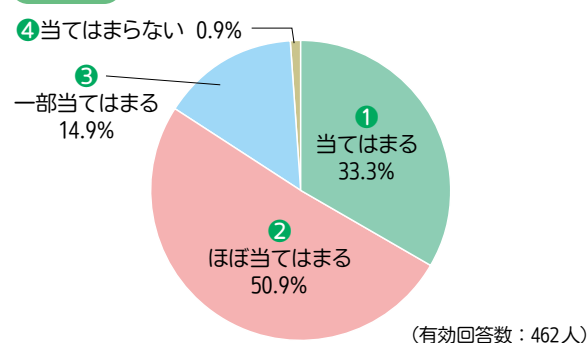
設問 2 幅広い教養を身につけることができた



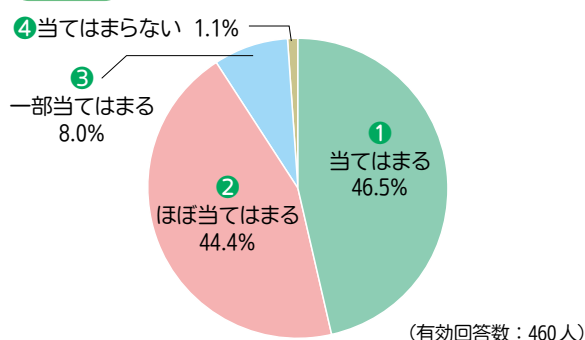
設問 3 思いやりの心を育むことができた



設問 4 高い倫理観を持つことができた



設問 5 チーム医療に貢献する意欲を持つことができた



- 対象者数：524 人
- 回答者数：462 人
- 回 答 率：88.2%

質問	① 当てはまる	② ほぼ当てはまる	③ 一部当てはまる	④ 当てはまらない	無効
1	116 人 (25.1%)	273 人 (59.1%)	69 人 (14.9%)	4 人 (0.9%)	
2	144 人 (31.2%)	258 人 (55.8%)	55 人 (11.9%)	5 人 (1.1%)	
3	180 人 (39.0%)	225 人 (48.7%)	52 人 (11.3%)	5 人 (1.1%)	
4	154 人 (33.3%)	235 人 (50.9%)	69 人 (14.9%)	4 人 (0.9%)	
5	214 人 (46.5%)	204 人 (44.4%)	37 人 (8.0%)	5 人 (1.1%)	2

入学課からのお知らせ

大学院入試について

医療科学研究科医療科学専攻修士課程・博士後期課程 薬学研究科医療薬学専攻博士課程（4年制）

本学大学院には毎年20名ほど社会人の方が入学されています。勤務しながら就学できるよう、授業や研究指導の配慮を行っています。2018年4月より、公認心理師・臨床心理士の受験資格に対応した公認心理師・臨床心理士資格取得コース、2020年4月からは、臨床検査技師を対象とした、細胞検査士資格取得コースも開設しました。また、2022年4月から博士後期課程において、看護学分野の受入れを予定しています。

本学卒業生は検定料（35,000円）および入学金（200,000円）を免除しています。大学院で学び、皆様方のキャリアアップにつなげていただければと思います。

● 2022年度大学院入試日程（医療科学研究科・薬学研究科）

期別	出願期間	試験日	合格発表
1期	2021年8月27日(金) ～9月3日(金)	2021年9月25日(土) 【今年度は終了しました】	2021年10月11日(月)
2期	2022年2月4日(金) ～2月11日(金)	2022年3月5日(土)	2022年3月16日(水)

※医療科学研究科は社会人特別選抜、東京サテライトコース（社会人診療放射線技師対象）入試があります。
※薬学研究科の社会人特別選抜入試はありません。薬剤師資格を取得している事が出願条件となります。
※詳細につきましては、本学ホームページ及び大学院学生募集要項をご覧ください。

学部入試について

おかげさまで本学は創立30年を迎えました。これまでに10,000名を超える卒業生が全国各地の医療機関・福祉施設等で活躍し、OB・OGによって結ばれたネットワークは後輩の就職活動の大きな味方になってくれています。

近年は、同窓生のご子弟が本学に入学される機会も増えてきました。医療・福祉分野への進学を希望するご家族、お知り合いの方がいらっしゃいましたら、医療現場で活躍する先輩として、鈴鹿医療科学大学をよく知る先輩として、ぜひとも本学をご推薦ください。

学部入試の詳細は本学ホームページ及び学生募集要項でご確認ください。大学案内・学生募集要項等のご請求は、ホームページ・メール・電話で受付けております（無料）。お気軽にお問い合わせください。

大学院についてのお問い合わせ

鈴鹿医療科学大学 大学院課
TEL：059-340-0334（直通）

学部入試についてのお問い合わせ

鈴鹿医療科学大学 入学課
TEL：059-383-9591（直通）
H P：https://www.suzuka-u.ac.jp/nyushi/
E-mail：nyushi@suzuka-u.ac.jp

2021年度同窓会ホームカミングパーティ中止について

毎年恒例となっている「卒業生ホームカミングパーティ」ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止を重視すべきとの観点から、今年度も対面型でのホームカミングパーティにつきましては中止とさせていただきます。

毎年ホームカミングパーティを心待ちにされていた卒業生皆様には、大変残念なご報告となってしまいました。何卒ご了承いただきますようお願いいたします。なお、今年度大学祭（碧鈴祭）は、11月6日（土）7日（日）の2日間での開催が予定されていますが、新型コロナウイルス感染状況によって日程や規模縮小となる場合がございます。大学祭のスケジュールその他につきましては、鈴鹿医療科学大学ホームページをご確認いただきますようお願いいたします。

来年度は、ぜひ皆様と鈴鹿でお会いできるのを楽しみにしております。また、今後は、オンラインでの交流会も企画してまいります。決定次第、同窓会ホームページまたは会報にてお知らせいたします。

同窓会事務局からのお知らせ

同窓会会報の原稿を募集します

本会報は母校卒業後も学校・同窓生を結び、会員皆様に親しまれる会報誌として編集・発行して参りました。今後も内容を充実させ同窓皆様の交流を支援する会報誌を目指して参りますので、広くご寄稿をお願い申し上げます。

ご寄稿を頂きました方にはささやかですがお礼をさせていただきます。

1. ご寄稿記事内容

- ①母校、同窓会、同期会に関わる思い出
- ②同窓生のお店（開業されているかたのお店紹介や、勤務先施設の紹介についてなど）
- ③学会、研究会、クラス会案内
- ④その他同窓会から募集するテーマ

2. 原稿

- ①のみ300～600字程度。②③④は300字程度。寄稿者本人写真及び関連写真やイラストをご提供願います。

3. 送付先と締め切り

同窓会事務局までメールまたは郵送してください。次号のご寄稿締め切りは、2022年6月末日になります。（発行は2022年10月1日予定）

支部同窓会を結成しませんか？

本会では、理事会の議を経て、学科別および地域別に支部を結成することができます。2021年8月現在、5支部（放射線技術科学学科、医療栄養学科（管理栄養学専攻）、医療福祉学科（医療福祉学専攻）、鍼灸サイエンス学科、薬学科）が結成されています。本会支部として活動される場合、支部で開催される卒業生交流支援活動に対して、規定により補助が行われます。

支部活動報告は、同窓会会報他で行っていただきます。まだ学科支部が結成されていない学科の卒業生皆様、卒業生の交流や後輩在学生への支援活動として支部同窓会を結成しませんか？支部結成を希望される場合は、同窓会事務局までメール mail@sums-aa.com でお知らせください。

転居時のご連絡を

住所が正しく登録されていない方には、同窓会会報や各種ご案内が届けられません。

住所等を変更される場合や改姓改名された方は、同窓会ホームページ（<http://www.sums-aa.com/index.html>）から変更登録ができます。また、QRコードからも登録情報変更ページにアクセスできますのでご利用ください。



同窓会名簿の頒布について

2005年4月から個人情報保護法が完全施行されたことに伴い、本会では同窓会名簿を頒布しないこととさせていただいております。悪しからずご了承ください。

各種同窓会の開催やご友人に連絡を取りたい場合は、同窓会事務局へご連絡ください。ご本人からの許可がない限り、直接、情報を開示することはできませんが、同窓会事務局から先方にその旨をお伝えいたします。

悪徳業者にご注意を

鈴鹿医療科学大学同窓会事務局からの住所調査と名乗り、電話で住所や勤務先などの個人情報を調べる業者がいます。本会では電話での住所調査は行っておりません。ご注意ください。

編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大も1年以上続き、徐々にワクチン接種が進んでいるものの、最近では感染再拡大の様相を呈しています。このような状況の中で医療従事者である多くの卒業生の皆様には、それぞれの立場から長期間に渡り日本の医療を支え続けて頂いていることに対し感謝申し上げます。今年は1991年の開学から創立30周年を迎えました。大学の節目である今年も、残念ながらホームカミングの開催は難しい状況が続いていますが、来年こそは感染も収束し、同窓生の皆さんが笑顔で再会できる場が持てることを祈念しています。